

# ちゃんねる

平成28年度 第2号 2016/11/8

## 仮想現実授業が現実！？

仙北市立角館小学校 西村隆夫

昨今、VR（仮想現実）が巷では話題になっています。今年のボーナス商戦は VR 体験ができるゲーム機がメインになりそうです。

一昔前は考えられなかった ICT 教育の進歩。MSX を使用して分厚いアスキーの雑誌に掲載されていたプログラムを打ち込んでゲームをしたり（一つでも打ち間違えるとバグったりしました）そのデータをカセットテープに保存したり。5 インチのフロッピーディスクを使用してのソフトの起動やデータの保存を行っていたのはつい先日のような感じがするのは自分だけでしょうか。その後、ミニフロッピーディスクを使用しての「一太郎」や「EXCEL」の利用が可能となり学校での使用も楽になったと思ったものでした。

でも、今はどうでしょう。PC を利用しなければ仕事になりませんし、子どもたちも一人1台タブレットを使いこなしている時代になるとは。

もう何年後かには

「今日は空から学校の周りの様子を立体的に見てみましょう」

「それでは準備はいいですか？」

というような子どもたちがゴーグルを着けた授業が普通になっているのではないのでしょうか。

もしかすればペッパーくんのような学習支援員？が学級にいて、ペッパーくんの目がプロジェクターとなり、どこにでも映像を映した授業を行っている風景が当たり前になっているのかも。

ところで、冒頭の VR 体験できるゲーム機はソフトも含めると10万円ちょっとするようです。欲しいところもあるのですが、こそっと買うと大変なことになりそう。悩んでいます。

今年度の会報「ちゃんねる」第1号の研究部の取り組みに、「日頃の授業実践から有意義だった活用事例募集します。授業で活用した HP や PDF ファイル/算数などで作成したパワーポイントファイル等々。みんなでシェアできればと考えています。」とあります。授業の様々な場面で youtube の動画をダウンロードして利用したりしたことが誰でもあろうかと思えます。「この授業では〇〇が効果的だったよ。」というのがありましたら、ぜひ研究部に送っていただければ幸いです。



## 夏季研修会についての報告

遅くなりましたが、今夏の夏季研集会の様子をお知らせします。

- 1 日時 平成28年8月1日（月） 13:30～15:30
- 2 場所 仙北市立西明寺小学校 コンピュータ室
- 3 参加人数 28名

## 4 研修内容

### ① 「授業のねらいを達成するためにタブレットをどう活用するか」

講師：ジャストシステム 保坂恒太氏

今回はウィンドウズタブレットを使い、(株) ジャストシステムさんの「ジャストスマイル クラス2」というアプリで研修を行いました。

PC版のソフト「ジャストスマイル クラス」は多くの学校に導入されており、子ども達も慣れ親しんでいるソフトです。そのタブレット版のアプリを使っての研修となりました。

その中から、タブレットでなければという使い方を学びました。いくつかを紹介致します。

#### (1) 動画や写真の整理

理科の授業で植物の成長の様子を観察する単元があります。デジカメで植物の様子を撮影することもあるのですが、結果を整理する段階でとても難儀することが多いです。写真データがどこにいったか分からなくなったり、写真を切り貼りするのに大量の時間がかかったりします。

その点、タブレットなら取った動画や写真をその場でデジタルノートに貼り付けることができ、すぐに成長記録ノートが作成できます。それを使って授業の終末や単元のまとめでのプレゼンも簡単に実現できます。



#### (2) タブレットの手軽さ

タブレットはキーボードもなく直感的に操作できますので、子ども達はどんどん自主的に学習を進めていくことができます。またデジタルノートやその他アプリに普通のノートのようにペンで書きこむこともできます。この手軽さがとてもいいと感じました。書いた文字や絵を拡大することもでき、グループでの話し合いなどにも活用できます。

#### (3) 動画で比べる機能

参加された先生方が一番驚いたのがこの機能です。跳び箱でうまく跳べる子どもの動画と自分の跳んでいる様子の動画を重ねて比較できます。その位置を簡単に合わせることができ、スロー再生や静止させるのも自由自在です。手のつく位置や踏み切りのタイミングなどに違いがあるのが一目瞭然で分かります。これは各種の運動指導に使えるそうです。

#### (4) 電子黒板との連携

電子黒板から子ども達のタブレットへ「課題シート」を配布します。子ども達は、そのシートに自分の考えをペンで書き込んだり、当てはまる項目にチェックを入れたりします。それを電子黒板に提出することで、大きく映ったり、項目が瞬時に集計されたりします。タブレットと電子黒板をつなぐことで、タイムリーな共有化が可能になると感じました。



### ② 「ちょっぴり ドローン映像」

西明寺小学校をドローンで上空から撮影した動画を見ながら、ドローンで撮影した映像が授業で使えないかを話し合いました。社会科での「学校の周りの様子」や理科での「地層」、「川の様子」などで使えるのではないかという話が出ました。

※ ご意見ご要望は、広報担当 藤木小 後藤まで